

【例題一大卒教養7】

最近の日本経済に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 2016年の実質経済成長率は、前年比プラスであった。その背景として、雇用者報酬や企業収益が増加したことを受けて、個人消費が2014年の消費税増税前の水準を上回り、企業の設備投資も前年比で10%以上増加したことがある。
2. 日本銀行は消費者物価の前年比上昇率を2%とする物価安定の目標を置いていたが、2016年にこの目標を1%に引き下げるとともに、金融政策の操作目標を通貨量とし、金利は操作目標から外された。
3. 雇用情勢を見ると、求人数が求職者数を上回り2016年の有効求人倍率は1を上回って推移した。高齢者や女性を中心に雇用者数が増加し、雇用形態別に見ると、非正規雇用者だけでなく正規雇用者についても2015年より増加した。
4. 政府は、2017年4月に予定されていた消費税率の引上げを延期した。その背景には、景気回復に伴う税収増加などにより、国と地方を合わせた基礎的財政収支が黒字化したことがある。
5. 東日本大震災以降赤字で推移していた貿易収支は、2016年に黒字に転じた。その背景としては、燃料価格の上昇などにより輸入額が増加したものの、新興国向け輸出が伸びたことで輸出額が大きく増加したことがある。

(正答) 3